

平成28年9月30日に長崎県長崎市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

9月30日16時40分頃に長崎市京泊^{きょうどまり}で突風が発生し、住家の屋根瓦などに被害がありました。

このため10月1日、長崎地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と認められる。

(根拠)

- ・ 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・ 突風発生時に移動する渦を撮影した映像が得られた。
- ・ 確度が高い、移動する渦の目撃証言が得られた。
- ・ 被害または痕跡は、断続的ではあるが帯状に分布していた。
- ・ ゴーという音が移動したという証言が得られた。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約50m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

(根拠)

- ・ 倉庫の屋根ふき材のめくれ。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。